



← 一般質問の映像は
こちらから

農業施策について



高久 淳平

質問

これからの農業政策は

町 担い手との連携を図る

問 担い手による遊休農地解消の取り組みは。

答 増加傾向にある遊休農地を農業公社において集約し、担い手との連携を図り、解消に取り組む。

問 地ビール祭りが開催されなかったが、その理由は。

答 事業、イベントの見直しの中で中止が決定された。しかし、今後も和牛振興は必要と考える。

問 これまでの取り組み状況、実績は。

答 平成29年の実績で、集積された83ヘクタールのうち21ヘクタールで遊休農地が解消された。

問 農業青年クラブへの支援を強化する考えは。

答 現在は大きな支援はできていないが、農業公社を通してクラブの行う企画、提案には積極的に支援していきたい。



担い手が農地を守る

教育振興について

質問

教育環境の整備は

町 地域と連携、充実を図る

問 給食費と同様に保護者負担となっている教材費を無料化できないか。

答 財源確保の問題から、現在はその予定は無い。

問 共有して使用できるものなど一部でも無料化できないか。

答 各学校へ配当している予算の中で対応できないか検討したい。

問 学校と地域はどのように連携しているか。

答 各学校の学校運営協議会、コミュニティスクールでは熟議が行われ、子供達の学びに役立てられている。今後は子供達の活動を地域の活性化につなげたい。

問 教職員の事務負担軽減の取り組みは。

答 先行自治体の好事例などを参考に、進めていきたい。

問 集金など現金を扱わない取り組みについては。

答 学級費の口座振替など来年度より業務改善に取り組む。



コミュニティスクールで稲刈り